

国指定鳥獣保護区における渡り鳥の状況について

	国指定鳥獣保護区名	主な渡り鳥の種類 〈飛来期間〉 ※ 1	現在の渡り鳥の主な種類 及び羽数(概数) ※ 2	備 考 ※ 3	※ 4
北海道	はまもとんべつ 浜頓別クッチャロ湖 (浜頓別町)	コハチヨウ、 マガモ、オナガガモ	ハチヨウ類 4,000 羽、 オナガガモ等ハチ類 25,000 羽	※主に渡去の中継地 ハチヨウ類は先週より 2,000 羽程増加。大沼は全面解 氷。 (4/19 現在)	北海道
	みやじまぬま 宮島沼 (美瑛市)	マガシ 約 5 ～ 6 万羽 〈秋期 9 月下旬 ～ 10 月 下旬、春期 4 月〉 他にオナガガモ等ハチ類、 コハチヨウ等ハチヨウ類	ハチヨウ類 160 羽 マガシ 33,670 羽 ハチ類 1,150 羽 ヒシイ 20 羽 等	※主に渡去の中継地 (4/19 現在)	
	ウトナイ湖 (苫小牧市)	ハチヨウ類 〈11 月上 ～ 1 月上旬〉、ハチ類 〈10 月 上 ～ 1 月上旬〉 など	ハチヨウ類 60 羽、 オナガガモ等ハチ類 190 羽	※主に渡去の中継地 渡り鳥のハチヨウ、ハチ類は ほぼ北上。 (4/19 現在)	
青森県	こみなと 小湊 (平内町)	オハチヨウ、オナガガモ、 キンロハシロ、ミカモ	オハチヨウ 8 羽	渡去はほぼ終了。 (4/20 現在)	東北
秋田県	おおがた 大湯草原 (大湯村)	マガモ、マガモ等ハチ類 〈10 月上 ～ 3 月下旬〉 コハチヨウ等ハチヨウ類 ヒシイ、マガシ 〈10 月下 ～ 3 月下旬〉		既に渡去終了	
山形県	最上川河口 (酒田市)	オナガガモ、キンロハシロ、キン ロハシロ等ハチ類 オハチヨウ、コハチヨウ 〈10 月中 ～ 4 月中旬〉	ハチヨウ類 20 羽、 オナガガモ 300 羽	現在越冬中で、2/13 か ら渡去開始。 (4/19 現在)	
鳥取県 ・ 島根県	なかうみ 中海 (米子市、境港 市、安来市、松 江市、東出雲町)	ハチ類 約 5 万羽 〈10 月中 ～ 4 月末〉	ハチ類 8,930 羽 (3 観測点の合計)	コハチヨウの渡去は終了。 ハチ類の渡去は、後半～終 盤。 (4/14 ～ 19 現在)	中国・四国
島根県	しんじこ 宍道湖 (松江市、出雲市、 ひかわ 斐川町)	マガシ、コハチヨウ、ハチ類 約 4 万羽 〈10 月中 ～ 4 月末〉	ハチ類 800 羽	ハチ類は渡去の終盤。 (4/17 現在)	

福岡県	わしろひがた 和白干潟 (福岡市)	ヒドリガモ、マガモ等雁類 ＜10月～3月＞ ハマシギなどシギ類 ＜9月～4月＞		既に渡去終了	九州
宮崎県	きりしま 霧島 (都 城市、高原町)	マガモ等雁類 ＜10月～4月＞		既に渡去終了	
鹿児島県	いずみ たかおの 出水・高尾野 (出水市)	ナベヅル、マヅル等ツル類 ＜10月～3月＞ ヒドリガモ、マガモ等雁類 ＜10月～3月＞	ナベヅル 6羽 ヒドリガモ等雁類 350羽	ナベヅルは全て幼鳥。 マヅルは渡去終了。 ガモ徐々に減少。 ミヤマガラスも見られない。 (4/20 現在)	

注：標記の内容は、各保護区を管轄する環境省の各地方環境事務所等が、業務報告や地域等からの聞き取り等により収集した保護区内の渡り鳥の状況を取りまとめたものである。

※1：業務報告、聞き取り等により推定した一般的な例年の状況である。

※2：情報収集した時点で可能な限り把握した内容であり、分布状況、地形、時間、天候等により確認不能な場合があるため、全てを確認したものではない。

※3：情報収集時点で推定される状況を、業務報告や聞き取り等により把握したものである。

※4：標記の各保護区を管轄する地方環境事務所及び自然環境事務所。